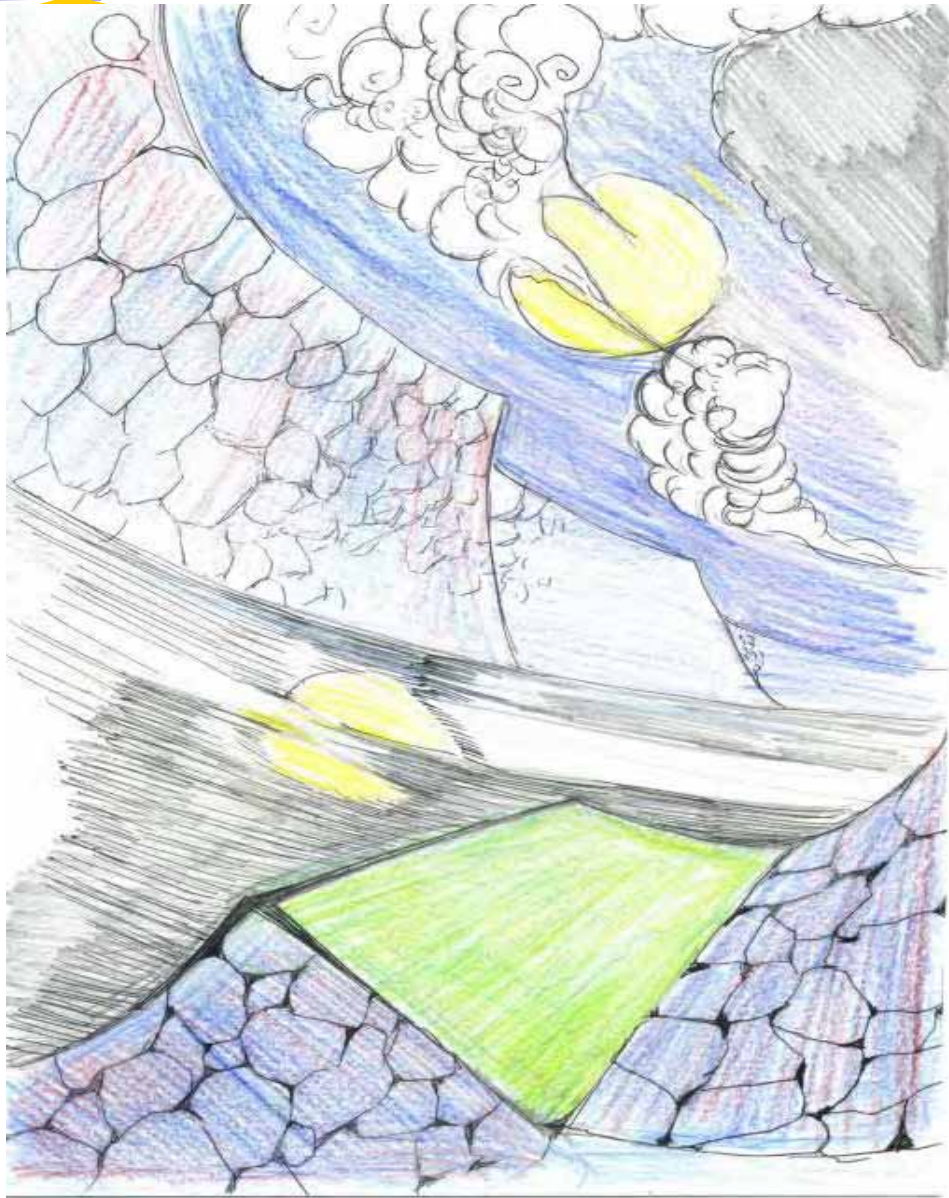


「荒城の月」 題材計画



挿絵 和田 学（龍ヶ崎市立城西中学校講師）

本題材計画は、平成21年度茨城県教育研修センター長期研修において、川嶋 圭介 教諭（龍ヶ崎市立城西中学校）が作成した「中学校歌唱共通教材題材計画集」の一部です。

歌唱共通教材は全部で7曲ですが、著作権の関係で3曲のみ掲載しています。

2 「荒城の月」(作詞：土井晩翠，作曲：滝廉太郎)

(1) 指導目標(例): イメージや感じ取った曲想を伝え合い，歌唱表現を工夫する。

(2) 題材の評価規準(例)

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能
曲のもっているよさや特質に関心をもち，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現をすることに意欲的である。	曲のもっているよさや特質を味わい，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。	曲のもっているよさや特質を味わい，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付けている。

(3) 手掛かりにする「音楽のアイテム」(〔共通事項〕)と表現を工夫する箇所(例)

「音楽のアイテム」	ア 歌詞	イ 音色(歌声)	リズム	速度	旋律	強弱	形式
		<i>andante</i>	<i>mf</i>	≡	口短調		

・短調の狭い感じの旋律を少し強く気持ちを込めて歌って，悲しげな感じを出す。

Andante *mf*

はるこうろうの はな えん めぐる さか ずき かげ さして

ちよのまつがえ わけいでし むかしのひかり いまいずこ

・はかなさを表現するために「むかしのひかり」をしっかりとクレッシェンドして，速度を少し落としてかなしいP(ピアノ)で「いまいずこ」と歌う。

(4) エピソード

武士の時代が終わり，国民による新しい社会になるはずであった明治元年，幕府郡側に立った会津班は，鶴ヶ城を根城に官軍と戦っていた。年がまだ16，17の子供たちで編成された白虎隊も，大人たちに加わって勇敢に戦った。しかし，近代兵器を多く持つ官軍に包囲され，「もうこれまでだ。」と悟った少年たちは飯盛山に登り，燃えさかる鶴ヶ城を眼下に見ながら喉を突いて自害する。

そんな歴史を刻みながらも明治7年に鶴ヶ城は取り壊される。風や雨にさらされ，苔がびっしりとはりめぐらされた廃墟に，作詞者の土井晩翠が唾然と立ち尽くしたのは，鶴ヶ城が悲劇的な落城を迎えてからわずか十年後のことだった。晩翠は，母校仙台二高の修学旅行で鶴ヶ城を訪れた。荒れ果てた城趾から受けた感銘と，故郷仙台の青葉城趾のイメージを合わせ，この詩を作り上げた。

作曲者の滝廉太郎もまた，音楽家への道を決意した地である大分県竹田市の岡城趾に強い思いを抱いていた。自らも「古城」という詩を書き，曲を付けようと考えていたが，晩翠の「荒城の月」と出会い，男性的な力強い詩に心打たれ，この曲が生まれた。(参考：「日本のうたこころの歌第4号『荒城の月』(株)デアゴスティーニ・ジャパン，『日本の詩情 滝廉太郎』音楽之友社)

(5) イメージ(例)

暗い，悲しい，さみしい，力強い，男らしい など

(6) 曲想(例)

「短調の旋律と強弱が関わって，暗くてさみしい感じを出している。」
「一つ一つの音を重々しくゆっくりと太い声で歌っているので，力強く感じる」など

(7) 準備

- ・「鶴ヶ城」「岡城趾」の写真
- ・ワークシート ・拡大楽譜
- ・「音楽のアイテム」カード
- ・グループ活動用楽譜
- ・付箋

(第1時) 「知覚・感受」(知識・技能の習得)

([] = 生徒の反応及び教師の説明や発問, [] = 「音楽のアイテム」, [] = 課題)

分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
15	1 「荒城の月」を歌う。	情景や様子をイメージしながら、「荒城の月」を鑑賞する。 4小節ずつ音程とリズムを確認し、1番の歌詞で旋律を歌えるようにする。
25	2 「荒城の月」の説明を聞く。 3 歌詞を理解しイメージを伝え合う。 <div data-bbox="220 801 821 958" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【イメージの例】 「暗い」「悲しい」「さみしい」「静か」 「誰もいない静かでさみしい夜の城」 「月の明かりと風の音が聞こえる」など</p> </div> 4 「音楽のアイテム」を手掛かりに「荒城の月」を鑑賞し、曲想を理解する。 <div data-bbox="220 1070 821 1411" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「音楽のアイテム」 ア 歌詞、音色(歌声)、リズム、速度、 旋律、強弱、形式、 イ <i>andante mf</i> < > 口短調 「音楽のアイテム」は生徒の発言の中から 授業を重ねて増やしていく。 (例)『重々しい(リズム)』 『太い声(音色)』</p> </div> <div data-bbox="220 1451 821 1653" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【「音楽のアイテム」と曲想のかかわり例】 「<u>短調の旋律と強弱が関わって、暗くてさみしい感じを出している。</u> 「<u>一つ一つの音を重々しくゆっくりと太い声で歌っている</u>ので、<u>力強く感じる。</u>」</p> </div> <p>([] = 曲想, [] = 「音楽のアイテム」)</p>	エピソードを紹介する。 <div data-bbox="853 504 1428 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【説明の内容】 ・鶴ヶ城、岡城趾(写真) ・明治維新史に残る会津落城の悲劇や「荒城の月」に対する作詞者や作曲者の思いについて紹介</p> </div> <p>歌詞の意味の理解のため大意を説明する。 歌詞を群読した後、イメージを広げるように発問する。 <div data-bbox="853 801 1428 918" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問の例】 「明るいか、暗いか」「賑やかか、静かか」 「どんな場面や情景が思い浮かぶか」など</p> </div> 鑑賞の前に、短調の音階の特徴を説明する。 <div data-bbox="853 1030 1412 1108" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>第2音、3音の間と第5音、6音の間が狭い。</p> </div> <p>音楽を形づくっている「音楽のアイテム」をカードで示し、聴き取るポイントを明確にする。 曲想を感じ取るために、楽譜を見ながら聴くように指示する。 「音楽のアイテム」を手掛かりに、最も「荒城の月」らしさを表しているところを楽譜の中に見つける。 「荒城の月」らしさを表している理由を配布した付箋に記入し、拡大楽譜に貼る。 付箋が集中した箇所や、曲想をとらえている理由などを全体に紹介する。 「重々しいリズム」や「太い声(音色)」など生徒から出てきた発言を「音楽のアイテム」に加える。 「音楽のアイテム」と曲想とのかかわりを関連付けて提示する。</p> </p>
10	5 次時の学習内容を把握する。 <div data-bbox="220 1825 821 1982" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【課題の例】 「短調の響きと強弱」「声とリズム」 「強弱と形式」を工夫して、イメージに合った「荒城の月」を歌おう。</p> </div>	どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどの歌い方を工夫したらよいか問いかけ、主体的に課題を見付けられるようにする。 生徒が「音楽のアイテム」を手掛かりにした歌い方の様々な工夫の方法を発表したことをまとめ、次時にグループごとに選択することを伝える。

(第2時) 「思考・判断」(表現の工夫) ⇨ 「表現」(伝え合う)

分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点												
5	1 「荒城の月」を歌う。	<p>「荒城の月」に合う歌声について考えながら発声練習をするように指示する。</p> <p>「力強い声が出せるように、たっぷり息を吸おう」の言葉かけで、ブレスの指導をする。</p> <p>「ラ」「ロ」で旋律を歌いながら、姿勢、ブレス、口の開け方など発声の指導をする。</p>												
30	2 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> グループごとに歌い方を工夫し、指揮者になって全体に説明し、イメージに合った「荒城の月」をみんなで歌おう。 </div> 3 グループで歌い方を工夫する。 <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th>分 担</th> <th>役 割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>司 会</td> <td>話合いの司会進行</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>歌い方の工夫を楽譜に記録</td> </tr> <tr> <td>説明者</td> <td>全体に歌い方を説明</td> </tr> <tr> <td>指揮者</td> <td>全体で歌うときの指揮者</td> </tr> <tr> <td>審査員</td> <td>歌を聴き、評価</td> </tr> </tbody> </table> <p>指揮が難しい場合は、始めの合図を示すだけでよい。 教師が指揮者のかたわらで表現の工夫点をジェスチャで伝えて、指揮者を補う。</p>	分 担	役 割	司 会	話合いの司会進行	書 記	歌い方の工夫を楽譜に記録	説明者	全体に歌い方を説明	指揮者	全体で歌うときの指揮者	審査員	歌を聴き、評価	<p>拡大楽譜の音楽記号を全体に質問しながら、読みや意味を確認しワークシートに記入できるようにする。</p> <p>前時に生徒が発表した「イメージ」「曲想」「課題」を掲示し、どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどここの歌い方を工夫するのか、決められるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>板書(例)</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学習課題</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【イメージ】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">《拡大楽譜》</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【曲 想】</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「音楽のアイテム」</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【課 題】</div> </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【発問の例】</p> <p>どの「音楽のアイテム」をどのように歌えば「荒城の月」らしくなるか考えよう。</p> </div>
分 担	役 割													
司 会	話合いの司会進行													
書 記	歌い方の工夫を楽譜に記録													
説明者	全体に歌い方を説明													
指揮者	全体で歌うときの指揮者													
審査員	歌を聴き、評価													
15	4 表現の工夫を伝え、みんなで歌う。 説明者が歌い方の工夫点を説明する。 (書記は拡大譜を示しながらサポート) 指揮者の合図で全体で斉唱する。 審査員は歌を聴いて意見を述べる。	<p>役割分担</p> <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tbody> <tr> <td style="width: 10%;">説明者</td> <td>どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどのように歌い方を工夫するのか説明する。</td> </tr> <tr> <td>指揮者</td> <td>合図を出し、ア・カペラで斉唱する。表現の工夫点を意識して指揮を振る。</td> </tr> <tr> <td>審査員</td> <td>自分たちが意図した歌い方ができているか判断して感想を伝える。</td> </tr> </tbody> </table> <p>各グループが工夫点としてあげたことを再確認し、最後に全体で1, 2番を通して歌う。</p> <p>ワークシートに自己評価と感想をまとめる。</p>	説明者	どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどのように歌い方を工夫するのか説明する。	指揮者	合図を出し、ア・カペラで斉唱する。表現の工夫点を意識して指揮を振る。	審査員	自分たちが意図した歌い方ができているか判断して感想を伝える。						
説明者	どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどのように歌い方を工夫するのか説明する。													
指揮者	合図を出し、ア・カペラで斉唱する。表現の工夫点を意識して指揮を振る。													
審査員	自分たちが意図した歌い方ができているか判断して感想を伝える。													
	5 学習のまとめをする。													

「早春賦」 題材計画



3 「早春賦」(作詞：吉丸一昌，作曲：中田 章)

(1) 指導目標(例): イメージや感じ取った曲想を伝え合い，歌唱表現を工夫する。

(2) 題材の評価規準(例)

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能
曲のもっているよさや特質に関心を持ち，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現をすることに意欲的である。	曲のもっているよさや特質を味わい，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。	曲のもっているよさや特質を味わい，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付けている。

(3) 手掛かりにする「音楽のアイテム」(〔共通事項〕)と表現を工夫する箇所(例)

「音楽のアイテム」	ア 歌詞	イ 音色(歌声)	リズム	速度	旋律	強弱	形式
		<i>pp</i> <i>p</i> <i>mf</i> <i>f</i>	◀ ▶			<i>rit.</i>	

・上っていく旋律を勢いのあるクレッシェンドで歌って，春の喜びを表現する。

・春を待ちわびる気持ちと，なかなか春が来ないじれったさを，強弱と速度を工夫して表現する。

(4) エピソード

作詞者の吉丸一昌が長野県の安曇野を訪れたときにこの詩ができたということで，安曇野に歌碑がある。また安曇野では，毎年さまざまなアーティストをゲストに「早春賦音楽祭」が開催されている。実は安曇野にはあまり知られていないもう一つのコンサートがある。安曇野を見下ろす穂高町の中腹に「有明高原寮」がある。少年矯正施設である。この寮で音楽を教え始めた西山さんが「少年たちの閉ざされた心を開く手助けをしたい」という思いで始めたのが「鐘の鳴る丘コンサート」。西山さんの呼びかけに安曇野の主婦たちが応え，1982年2月に有明寮に80人が集い，ささやかな音楽会が開かれた。その後毎年開催されるようになり，400人を超えるまでになった。この時必ず歌われる曲が「早春賦」。主婦と少年たちが一緒に歌えるのは本番だけ。お互い，相手の顔も分からないまま別々に練習する。しかし，厳しい冬に耐え，雪解けを待つ少年たちの心と春になって寮生たちと会うのを楽しみに歌の練習をする主婦たちの心は「早春賦」を通して，不思議と通じ合っている。雪解け，芽吹き，暖かな日差し，寒い冬を耐え，そして待ちこがれる春の訪れは，新たな生命の息吹を感じさせる喜びに満ちている。静かな詩と躍動感あふれるメロディーが春を感じさせる。春への期待に満ちた曲である。

(参考：読売新聞文化部，唱歌・童謡ものがたり)

(5) イメージ(例)

広がり，自然，アルプス，心温まる など

(6) 曲想(例)

「元気で希望に満ちた感じなのは上っていく旋律とクレッシェンドのためだ。」
「同じ歌詞を繰り返す部分の旋律を対比し，速度や強弱を変化させることで，期待と残念な気持ちを表している。」 など

(7) 準備

- ・「安曇野」「角ぐむ葦」「有明高原寮」の写真・付箋
- ・ワークシート・拡大楽譜
- ・「音楽のアイテム」カード
- ・グループ活動用楽譜

(第1時) 「知覚・感受」(知識・技能の習得)

([] = 生徒の反応及び教師の説明や発問, [] = 「音楽のアイテム」, [] = 課題)

分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
15	1 「早春賦」を歌う。	情景や様子をイメージしながら、「早春賦」を鑑賞する。 4小節ずつ音程とリズムを確認し、1番の歌詞で旋律を歌えるようにする。
25	2 「早春賦」の説明を聞く。 3 歌詞を理解しイメージを伝え合う。 <div data-bbox="220 801 821 952" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【イメージの例】 「広い」「あたたかい」「わくわく」「勢い」 「雪が溶け始め、春が近づく安曇野の自然」 「雪がまだ残るアルプスの山々」など</p> </div> 4 「音楽のアイテム」を手掛かりに「早春賦」を鑑賞し、曲想を理解する。 <div data-bbox="220 1064 821 1332" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「音楽のアイテム」 ア 歌詞、音色(歌声)、リズム、速度、旋律、強弱、形式 イ <i>pp p mf f</i> < > <i>rit.</i> 「音楽のアイテム」は生徒の発言の中から授業を重ねて増やしていく。 (例)『上っていく旋律』</p> </div> <div data-bbox="220 1366 821 1612" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【「音楽のアイテム」と曲想のかかわり例】 「元気で希望に満ちた感じなのは、<u>上っていく旋律とクレッシェンドのためだ。</u>」 「<u>同じ歌詞を繰り返す部分の旋律を対比し、速度や強弱を変化させることで、期待と残念な気持ちを表している。</u>」</p> </div> ([] = 曲想, [] = 「音楽のアイテム」)	エピソードを紹介する。 <div data-bbox="853 504 1428 683" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【説明の内容】 ・安曇野、角ぐむ葦、有明高原寮(写真) ・「早春賦」を通して、少年矯正施設と地域の方との交流が行われていることや作詞者、作曲者の紹介</p> </div> 歌詞の意味の理解のため大意を説明する。歌詞を群読した後、イメージを広げようように発問する。 <div data-bbox="853 795 1428 952" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問の例】 「広いか、狭いか」「あたたかい、冷たいか」「わくわくか、しっとりか」 「どんな場面や情景が思い浮かぶか」など</p> </div> モーツアルトの「春へのあこがれ」の冒頭の旋律を紹介し、共通した旋律の特徴を見付けるようにする。 「春へのあこがれ」も春を待ちわびる曲音楽を形づくっている「音楽のアイテム」をカードで示し、聴き取るポイントを明確にする。 曲想を感じ取るために、楽譜を見ながら聴くように指示する。 「音楽のアイテム」を手掛かりに、最も「早春賦」らしさを表しているところを楽譜の中に見つける。 「早春賦」らしさを表している理由を配布した付箋に記入し、拡大楽譜に貼る。付箋が集中した箇所や、曲想をとらえている理由などを全体に紹介する。 「上っていく旋律」など生徒から出てきた発言を「音楽のアイテム」に加える。 「音楽のアイテム」と曲想とのかかわりを関連付けて提示する。
10	5 次時の学習内容を把握する。 <div data-bbox="220 1825 821 1982" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【課題の例】 「上っていく旋律と強弱」「対比されている旋律と強弱」を工夫して、イメージに合った「早春賦」を歌おう。</p> </div>	どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどの歌い方を工夫したらよいか問いかけ、主体的に課題を見付けられるようにする。 生徒が「音楽のアイテム」を手掛かりにした歌い方の様々な工夫の方法を発表したことをまとめ、次時にグループごとに選択することを伝える。

(第2時) 「思考・判断」(表現の工夫) ⇨ 「表現」(伝え合う)

分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点											
5	1 「早春賦」を歌う。	<p>「早春賦」に合う歌声について考えながら発声練習をするように指示する。</p> <p>「安曇野の新鮮な空気をたくさん吸おう」の言葉かけで、ブレスの指導をする。</p> <p>「ラ」「ロ」で旋律を歌いながら、姿勢、ブレス、口の開け方など発声の指導をする。</p>											
30	2 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> グループごとに歌い方を工夫し、指揮者になって全体に説明し、イメージに合った「早春賦」をみんなで歌おう。 </div>	<p>拡大楽譜の音楽記号を全体に質問しながら、読みや意味を確認しワークシートに記入できるようにする。</p> <p>前時に生徒が発表した「イメージ」「曲想」「課題」を掲示し、どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどここの歌い方を工夫するのか、決められるようにする。</p>											
	3 グループで歌い方を工夫する。 <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th>分 担</th> <th>役 割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>司 会</td> <td>話合いの司会進行</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>歌い方の工夫を楽譜に記録</td> </tr> <tr> <td>説明者</td> <td>全体に歌い方を説明</td> </tr> <tr> <td>指揮者</td> <td>全体で歌うときの指揮者</td> </tr> <tr> <td>審査員</td> <td>歌を聴き、評価</td> </tr> </tbody> </table> <p>指揮が難しい場合は、始めの合図を示すだけでよい。 教師が指揮者のかたわらで表現の工夫点をジェスチャで伝えて、指揮者を補う。</p>	分 担	役 割	司 会	話合いの司会進行	書 記	歌い方の工夫を楽譜に記録	説明者	全体に歌い方を説明	指揮者	全体で歌うときの指揮者	審査員	歌を聴き、評価
分 担	役 割												
司 会	話合いの司会進行												
書 記	歌い方の工夫を楽譜に記録												
説明者	全体に歌い方を説明												
指揮者	全体で歌うときの指揮者												
審査員	歌を聴き、評価												
15	4 表現の工夫を伝え、みんなで歌う。 説明者が歌い方の工夫点を説明する。 (書記は拡大譜を示しながらサポート) 指揮者の合図で全体で斉唱する。 審査員は歌を聴いて意見を述べる。	<p>役割分担</p> <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tbody> <tr> <td>説明者</td> <td>どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどのように歌い方を工夫するのか説明する。</td> </tr> <tr> <td>指揮者</td> <td>合図を出し、ア・カペラで斉唱する。表現の工夫点を意識して指揮を振る。</td> </tr> <tr> <td>審査員</td> <td>自分たちが意図した歌い方ができているか判断して感想を伝える。</td> </tr> </tbody> </table> <p>各グループが工夫点としてあげたことを再確認し、最後に全体で1, 2番を通して歌う。</p> <p>ワークシートに自己評価と感想をまとめる。</p>	説明者	どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどのように歌い方を工夫するのか説明する。	指揮者	合図を出し、ア・カペラで斉唱する。表現の工夫点を意識して指揮を振る。	審査員	自分たちが意図した歌い方ができているか判断して感想を伝える。					
説明者	どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどのように歌い方を工夫するのか説明する。												
指揮者	合図を出し、ア・カペラで斉唱する。表現の工夫点を意識して指揮を振る。												
審査員	自分たちが意図した歌い方ができているか判断して感想を伝える。												
	5 学習のまとめをする。												

「浜辺の歌」 題材計画



7 「浜辺の歌」(作詞：林 古溪，作曲：成田為三)

(1) 指導目標(例): イメージや感じ取った曲想を伝え合い，歌唱表現を工夫する。

(2) 題材の評価規準(例)

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能
曲のもっているよさや特質に関心をもち，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現をすることに意欲的である。	曲のもっているよさや特質を味わい，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。	曲のもっているよさや特質を味わい，自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付けている。

(3) 手掛かりにする「音楽のアイテム」(〔共通事項〕)と表現を工夫する箇所(例)

「音楽のアイテム」	ア	歌詞	音色(歌声)	リズム	速度	旋律	強弱	形式
	イ	拍子	<i>p</i>	<i>mp</i>	<i>mf</i>	<i>f</i>	◀ ▶	<i>rit.</i>
・流れるような8分の6拍子にのって，強弱をきかせて歌って，寄せては返す波を表現する。								
		あしたーはまーべーをさーまーよえーばーむ						・「くも」に向かって，何か近づいてくるようなクレッシェンドでサビの旋律を盛り上げる。
		かーしーのこーとーぞしーのーぼるる						
		ぜのおーとよくものさまよーよ						
		するーなーみーもかーいのいろもー						

(4) エピソード
 作曲者の成田為三は，親の反対のため音楽家を目指せず小学校教師をしていた。しかし，密かに東京音楽学校を受験し合格。音楽学校では山田耕筰に師事することになる。在学中，渡米中の山田耕筰に代わって弟子の成田が紹介され，この曲が生まれた。
 もともとは4番までであった「浜辺の歌」だが，あるとき，作詞者の林古溪の承諾なしに3番の前半と4番の後半をくっつけて出版された。「これでは意味が通じない。」と詩人が嘆いたことから，現在では2番までになっている。
 「どこの浜辺か。」と歌のモデルを知りたくなるが，作詞者，作曲者ともにどこの浜辺をイメージしたのかを明らかにしていない。また，3番，4番もなくなってしまい，歌詞から想像することも難しい。この歌に関しては「どこの浜辺」と限定せず，歌い手や聴き手がそれぞれの浜辺を想像することがよいだろう。どこまでも続く穏やかな砂浜の海岸線。静かに打ち寄せては返す波。日本の原風景の一つであることには間違いない。
 (参考：(株)デアゴスティーニ・ジャパン，「日本のうた ところの歌3『浜辺の歌』」)

(5) イメージ(例)
 おだやか，寄せては返す波
 静か，広く美しい浜辺，など

(6) 曲想(例)
 「寄せては返す波を，流れるような拍子と強弱の関係で表現している。」
 「サビの部分でだんだん近づいてくるようなクレッシェンドがあるので，広びろとした砂浜が連想できる。」 など

(7) 準備
 ・「浜辺」の写真，
 ・「波の音」の効果音
 ・ワークシート ・拡大楽譜
 ・「音楽のアイテム」カード
 ・グループ活動用楽譜 ・付箋

(第1時) 「知覚・感受」(知識・技能の習得)

([] = 生徒の反応及び教師の説明や発問, [] = 「音楽のアイテム」, [] = 課題)

分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
15	1 「浜辺の歌」を歌う。	情景や様子をイメージしながら、「浜辺の歌」を鑑賞する。 4小節ずつ音程とリズムを確認し、1番の歌詞で旋律を歌えるようにする。
25	2 「浜辺の歌」の説明を聞く。 3 歌詞を理解しイメージを伝え合う。 <div data-bbox="215 801 821 958" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【イメージの例】 「広い」「静か」「美しい」「寄せては返す波」「穏やかな浜辺」「静かで広くて美しい浜辺」など</p> </div> 4 「音楽のアイテム」を手掛かりに「浜辺の歌」を鑑賞し、曲想を理解する。 <div data-bbox="215 1064 821 1411" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「音楽のアイテム」 ア 歌詞、音色(歌声)、リズム、速度、旋律、強弱、形式 イ 拍子 <i>p mp mf f</i> < > <i>rit.</i> 「音楽のアイテム」は生徒の発言の中から授業を重ねて増やしていく。 (例)『近づいてくるようなクレッシェンド(強弱)』</p> </div> <div data-bbox="215 1444 821 1691" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【「音楽のアイテム」と曲想のかかわり例】 「寄せては返す波を、<u>流れるような拍子と強弱の関係</u>で表現している。」 「<u>サビの部分で、だんだん近づいてくるようなクレッシェンド</u>があるので<u>広々とした砂浜</u>が連想できる。」</p> </div> ([] = 曲想, [] = 「音楽のアイテム」)	エピソードを紹介する。 <div data-bbox="853 504 1428 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【説明の内容】 ・浜辺(写真) ・波の音(効果音) ・「どこの浜辺なのか」に関する様々な説や、この曲に対する作詞者、作曲者の思いについて紹介</p> </div> 歌詞の意味の理解のため大意を説明する。歌詞を群読した後、イメージを広げるように発問する。 <div data-bbox="853 801 1428 987" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問の例】 「広いか、狭いか」「一人か、大勢か」「穏やかか、荒々しいか」「流れる感じが、止まっている感じが」「どんな場面や情景が思い浮かぶか」など</p> </div> 鑑賞の前に8分の6拍子を説明する。 <div data-bbox="853 1025 1412 1108" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>範唱に合わせて手拍子をたたく 範唱に合わせて指揮を振る</p> </div> 音楽を形づくっている「音楽のアイテム」をカードで示し、聴き取るポイントを明確にする。 曲想を感じ取るために、楽譜を見ながら聴くように指示する。 「音楽のアイテム」を手掛かりに、最も「浜辺の歌」らしさを表しているところを楽譜の中に見つける。 「浜辺の歌」らしさを表している理由を配布した付箋に記入し、拡大楽譜に貼る。付箋が集中した箇所や、曲想をとらえている理由などを全体に紹介する。 「近づいてくるようなクレッシェンド」など生徒から出てきた発言を「音楽のアイテム」に加える。 「音楽のアイテム」と曲想とのかかわりを関連付けて提示する。
10	5 次時の学習内容を把握する。 <div data-bbox="215 1818 821 2011" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【課題の例】 「流れるような拍子と強弱」「サビの部分の強弱の仕方」「弱拍で始まる旋律と速度」を工夫して、イメージに合った「浜辺の歌」を歌おう。</p> </div>	どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどの歌い方を工夫したらよいか問いかけ、主体的に課題を見付けられるようにする。生徒が「音楽のアイテム」を手掛かりにした歌い方の様々な工夫の方法を発表したことをまとめ、次時にグループごとに選択することを伝える。

(第2時) 「思考・判断」(表現の工夫) ⇨ 「表現」(伝え合う)

分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点																					
5	1 「浜辺の歌」を歌う。	「浜辺の歌」に合う歌声について考えながら発声練習をするように指示する。 「広々とした砂浜で、磯の香りを嗅ぐように、深く息を吸おう」の言葉かけで、ブレスの指導をする。 「ラ」「ロ」で旋律を歌いながら、姿勢、ブレス、口の開け方など発声の指導をする。																					
30	2 学習課題を把握する。 グループごとに歌い方を工夫し、指揮者になって全体に説明し、イメージに合った「浜辺の歌」をみんなで歌おう。 3 グループで歌い方を工夫する。 <table border="1" data-bbox="215 922 694 1153"> <thead> <tr> <th>分 担</th> <th>役 割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>司 会</td> <td>話合いの司会進行</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>歌い方の工夫を楽譜に記録</td> </tr> <tr> <td>説明者</td> <td>全体に歌い方を説明</td> </tr> <tr> <td>指揮者</td> <td>全体で歌うときの指揮者</td> </tr> <tr> <td>審査員</td> <td>歌を聴き、評価</td> </tr> </tbody> </table> 指揮が難しい場合は、始めの合図を示すだけでよい。 教師が指揮者のかたわらで表現の工夫点をジェスチュアで伝えて、指揮者を補う。	分 担	役 割	司 会	話合いの司会進行	書 記	歌い方の工夫を楽譜に記録	説明者	全体に歌い方を説明	指揮者	全体で歌うときの指揮者	審査員	歌を聴き、評価	拡大楽譜の音楽記号を全体に質問しながら、読みや意味を確認しワークシートに記入できるようにする。 前時に生徒が発表した「イメージ」「曲想」「課題」を掲示し、どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどこの歌い方を工夫するのか、決められるようにする。 <div data-bbox="805 969 1428 1317" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 板書(例) <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習課題</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【イメージ】</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">《拡大楽譜》</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【曲 想】</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「音楽のアイテム」</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【課 題】</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="805 1339 1428 1456" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【発問の例】 どの「音楽のアイテム」をどのように歌えば「浜辺の歌」らしくなるか考えよう。 </div>	学習課題			【イメージ】	《拡大楽譜》	【曲 想】	「音楽のアイテム」		【課 題】
分 担	役 割																						
司 会	話合いの司会進行																						
書 記	歌い方の工夫を楽譜に記録																						
説明者	全体に歌い方を説明																						
指揮者	全体で歌うときの指揮者																						
審査員	歌を聴き、評価																						
学習課題																							
【イメージ】	《拡大楽譜》	【曲 想】																					
「音楽のアイテム」		【課 題】																					
15	4 表現の工夫を伝え、みんなで歌う。 説明者が歌い方の工夫点を説明する。(書記は拡大譜を示しながらサポート) 指揮者の合図で全体で斉唱する。 審査員は歌を聴いて意見を述べる。 5 学習のまとめをする。	役割分担 <table border="1" data-bbox="805 1529 1428 1798"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">説明者</td> <td>どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどのように歌い方を工夫するのか説明する。</td> </tr> <tr> <td>指揮者</td> <td>合図を出し、ア・カペラで斉唱する。表現の工夫点を意識して指揮を振る。</td> </tr> <tr> <td>審査員</td> <td>自分たちが意図した歌い方ができているか判断して感想を伝える。</td> </tr> </tbody> </table> 各グループが工夫点としてあげたことを再確認し、最後に全体で1, 2番を通して歌う。 ワークシートに自己評価と感想をまとめる。	説明者	どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどのように歌い方を工夫するのか説明する。	指揮者	合図を出し、ア・カペラで斉唱する。表現の工夫点を意識して指揮を振る。	審査員	自分たちが意図した歌い方ができているか判断して感想を伝える。															
説明者	どの「音楽のアイテム」を手掛かりにどのように歌い方を工夫するのか説明する。																						
指揮者	合図を出し、ア・カペラで斉唱する。表現の工夫点を意識して指揮を振る。																						
審査員	自分たちが意図した歌い方ができているか判断して感想を伝える。																						